

## 教育技術開発部会キックオフ

### － 産学協働による教育関連 IT 技術の活用を目指して －

企画部会： 教育技術開発部会

オーガナイザー： 常盤 祐司（法政大学）

#### セッション概要：

新しいテクノロジーおよび標準を教育の場で利用するために、企業と大学が一丸となってそれらを用いた教育手法・技術を共同で開発し、大学におけるそれらの実践的な利活用のあり方を提案することを目的として今年度発足した本部会の活動理念とその成果を報告します。初めに部会の活動理念および部会への参加方法を解説し、続いて企業と大学による事例報告を行います。

10:00-10:15 教育技術開発部会概要 常盤 祐司（教育技術開発部会主査、法政大学）

本部会の活動理念と今後の計画および部会への参加方法などを説明します。

10:15-11:30 事例報告

#### (1) 語学教育における手書き指導を導入したアクティブラーニング

河合 剛（北海道大学 メディア・コミュニケーション研究院）

大西 昭夫（株式会社 VERSION2）

北海道大学外国語教育センターでは、Web ラーニングシステム「Glexa」を活用し、従来にはないマルチメディアコンテンツを活用した語学教育を実践しています。本発表では、これまでの取り組んできた教育手法の紹介とともに、新たな試みとして、手書きコンテンツを LMS 上にダイレクトに連携させる実証実験を開始しており、その内容を報告します。

上記の取組みにおいては、ソニー製デジタルペーパーと Version2 製 LMS「Glexa」との連携ソリューションを活用していますが、そこで構築される教育プロセスの変化と教育効果、今後の課題について発表します。

#### (2) Research Excellence 実現に向けた取り組み発表

玉造 潤一（東京大学 情報システム本部）

朝日 睦（日本オラクル エンタープライズソリューション統括本部）

東京大学では日本オラクルと協力し、大学が取り組むべき ICT を活用したテーマについての検討を半年に渡り重ねてきました。プロジェクトでは、海外における先進的な取り組みの調査や先進テクノロジーのロードマップを参考にし、4つの検討領域、「教育と学習」、「研究」、「経営基盤」、「情報システム基盤」において計 12 個のイニシアティブを選定しました。本企画セッションでは、その中から「研究」領域における 3 つのイニシアティブ、「Research Data Management and Analytics」、「Collaborative Community」、「Research Management」について紹介し、これらのイニシアティブを実現する上での 3 つの課題、「研究成果に対する要求の高度化への対応」、「研究の専門深化と学際的な研究領域の増加への対応」、「研究予算の停滞と劣化しつつある研究インフラの更新」の解決策の方向性を示し、また Research Excellence を実現するためイノベーションを効果的に創出する研究環境の実現を支える IT 技術要素を定義します。

### (3) UTokyo OCW における講義映像の検索

増田 勝也、藤原 毅夫（東京大学 大学総合教育研究センター）

山村 貴秀、山城 達馬（富士ゼロックス(株) ビジネストラנסフォーメーション営業部）

東京大学では正規講義を社会に対して広く公開することを目的として、UTokyo OCW にて講義資料・映像をウェブ上に無償公開しています。本発表では UTokyo OCW にて運用している SkyDesk Media Deliver を用いた講義映像内テキストの検索機能、MIMASearch を用いた関連講義の可視化・検索機能を紹介し、講義映像に対する検索の有用性、課題点について述べます。

UTokyo OCW で使用されている SkyDesk Media Deliver は、動画からのテキスト抽出技術により、索引を作成する動画インデキシングサービスです。ビデオコンテンツから「動きのないシーン」を静止画として抽出し、さらに静止画からテキストを抽出してインデックス化する機能を WEB API サービスとして提供します。

発表資料は大会終了後 <http://edtech.axies.jp/> に掲載します。